

# 都市再生整備計画 事後評価シート

とおかまち地区<第2期>  
(地方都市リノベーション事業)

平成30年7月

新潟県十日町市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	十日町市	地区名	とおかまち地区<第2期>(地方都市リノベーション事業)			面積	100ha					
交付期間	平成24年度～29年度	事後評価実施時期	平成30年5月	交付対象事業費	3,600百万円	国費率	0.5							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業	道路(3路線)、高次都市施設(地域交流センター、子育て支援センター)、地方都市リノベーション推進施設(旧倉跡地活用事業、旧倶楽部跡地活用事業)、既存建造物活用事業(市民交流センター、市民活動センター・まちなか公民館)												
	提案事業	なし												
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業 提案事業	なし なし											
新たに追加した事業	基幹事業	道路(2路線)、地域生活基盤施設(キナーレ南広場1箇所)			地方都市リノベーション推進施設や道路と一体的に整備することにより、施設の利便性や回遊性の向上を図るため。			影響は軽微						
	提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成24年度～28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし							
	変更	平成24年度～29年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	中心市街地内の居住人口の社会動態	人	-85	H19～H23の合計	±0	H25～H28の合計	/	-22	△	あり なし	●	区画整理地内の集合住宅建設がなくなったことや、サービス付き高齢者向け住宅及びファミリー向け都市型住宅の入居率が思うように上がらなかったことが要因のひとつと考えられる。	H31年4月頃(改善策の実施後)
	指標2	歩行者・自転車交通量(平日)の増加	人/日	5,841	H23	6,520	H28	/	4,088	△	あり なし	●	H28年2月に中心市街地のスーパーが閉店したこと、十日町市文化ホール・中央公民館「段十郎」のオープンがH29年11月となったことが主な要因と考えられる。	H31年6月頃(改善策の実施後)
	指標3	文化・活動施設の利用者数及び野外活動者数(年間)の増加	人/年	126,682	H23	150,400	H29	/	188,169	○	あり なし		まちなかステージ施設(分じろう・十じろう・段十郎等)での様々なイベントや活動が、全体の施設利用者の増加につながった。	
指標4	(仮称)産業文化発信館利用者数の増加	人	4,000	H24(7月～9月)	6,900	H27(7月～9月)	/	14,371	○	あり なし		大地の芸術祭の作品に登録されたことで、芸術祭期間中の中心市街地の回遊拠点となり、併せて各種イベント等の開催により、利用者の増加につながった。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	<p>・H27年9月にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅及びファミリー向け都市型住宅「アップルとおかまち」への入居者の増加が期待される。</p> <p>・H28年度に「市民交流センター(分じろう)」と「市民活動センター(十じろう)」がオープンし、H29年10月に「地域交流センター(段十郎)」が完成し、中心市街地活性化のテーマである「まちなかステージ」が形づくられたことにより、まちなかステージでの活動する人が増加している。</p> <p>・楽しく歩く環境をつくるために、「十日町産業文化発信館(いこて)」がH27年6月にオープンし、大地の芸術祭の期間中などの来街者の回遊拠点となっている。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	■十日町市総合計画に関するアンケート調査 時期:平成25年6月、平成29年11月 対象:十日町市在住の20歳以上の市民から抽出した3,000人			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後、施設間の連携や回遊性を高める仕組み作りを進め、市民満足度の向上を図る。					
	住民参加プロセス	■中心商店街の街づくりを行う市民有志による「NPOにぎわい」を組織 設立:H24 会員数:60名 ■まちなかステージづくりの取組みに関する住民参加 H25:デザイン勉強会4回、魅力・課題発見WS3回(150名) H26:市民活動、施設運営、施設設計部会のWS12回等(663名) H27:施設オープンに向けた準備作業、プレイベントなどの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 施設利用者数の増加を目指すため、各施設間の連携を図る。					
	持続的なまちづくり体制の構築	十日町市中心市街地活性化協議会を組織			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 協議会の継続については、現在検討中。					

様式2-2 地区の概要

とおかまち地区<第2期>(新潟県十日町市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
テーマ:「新たなにぎわい」に満ちた「魅力あるまち」の創造 ~”安心・快適・ときめき”のまちの形成~	中心市街地内の居住人口の社会動態	単位: 人 -85	H19~H23の合計 ±0	H28 -22
① 雪国でも快適で安心して暮らし続けられるまちづくり 【施策1】:安心で快適な居住空間の提供 【施策2】:生活利便施設の充実 【施策3】:都市基盤施設の充実(道路)	歩行者・自転車交通量(平日)の増加	単位: 人/日 5,841	H23 6,520	H28 4,088
② 人が集い、活気とふれあいに満ちたまちづくり 【施策1】:にぎわいと交流の場の創出 【施策2】:都市基盤施設の充実(駐車場)	文化・活動施設の利用者数及び野外活動者数(年間)の増加	単位: 人/年 126,682	H23 150,400	H29 188,169
	歩行者数(仮称) 産業文化発信館利用者数の増加	単位: 人 4,000	H24(7月~9月) 6,900	H27(7月~9月) 14,371



■道路  
キナーレ南側進入路 整備

■地域生活基盤施設  
キナーレ南広場 整備

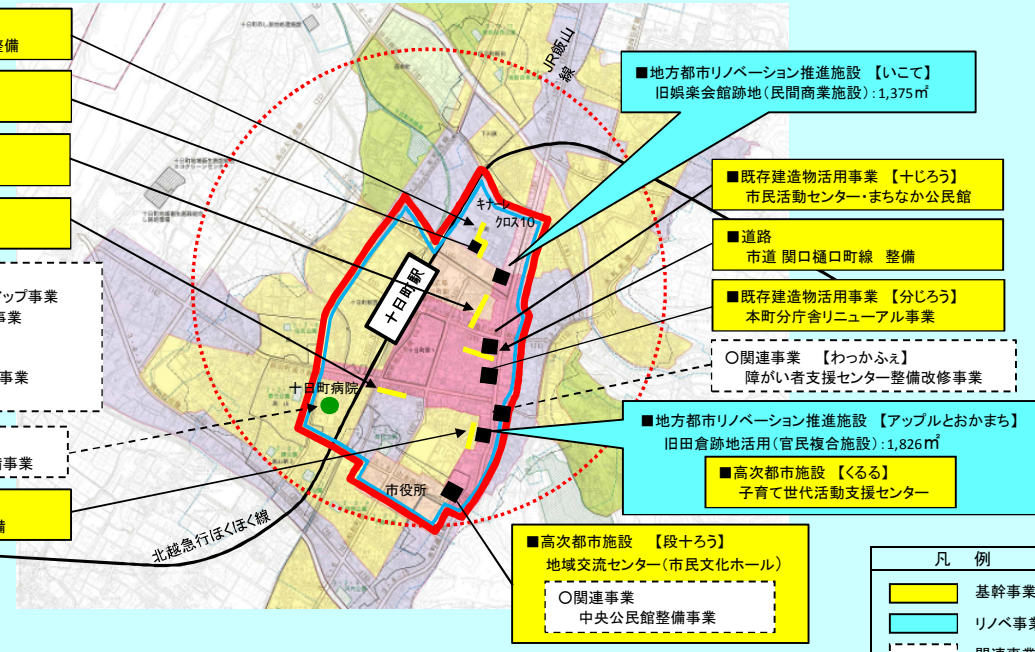
■道路  
西浦町4号線 整備

■道路  
市道 栄町6号線 整備

○関連事業  
・中心市街地にぎわいカアップ事業  
・市民活動拠点施設整備事業  
・地域資源活用調査事業  
・歩行者交通量調査事業  
・コミュニティーガーデン整備事業  
・十日町駅機能強化事業

○関連事業  
県立十日町病院新築整備事業

■道路  
市道 袋町東1号線 整備



凡例

■	基幹事業
■	リノベ事業
○	関連事業

まちの課題の変化	<p>①人口減少と少子高齢化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化区域の住宅に対し、屋根雪処理の負担軽減を図る克雪すまいづくり事業の嵩上げ補助を行うことで、区域内に位置する駅西土地区画整理事業地内でのファミリー層を中心として市所有の10区画の保留地売却が行われた。また、本町2丁目におけるサービス付き高齢者住宅の建設により、雪国でも安心して暮らせる環境を整備するとともに、同建物内に子育て支援施設を併設することにより、世代交流が行われている。</li> </ul> <p>②老朽化した空きビルや遊休地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県中越地震により被災した二つの大型商業施設跡地が民間事業の取組みにより、商業施設とサービス付き高齢者向け住宅に再生された。また、遊休地に立体駐車場を整備し中心市街地へのアクセスの向上を行った。</li> </ul> <p>③商業・都市、コミュニティー機能の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27年9月にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅及びファミリー向け都市型住宅「アップルとおかまち」への入居者の増加が期待される。</li> <li>H28年度に「市民交流センター(分じろう)」と「市民活動センター(十じろう)」がオープンし、また、H29年10月には「地域交流センター(段十ろう)」がオープンしたことにより、中心市街地活性化のテーマである「まちなかステージ」が形づくられた。</li> <li>楽しく歩く環境をつくるために、「十日町産業文化発信館(いこて)」がH27年6月にオープンし、来街者の回遊性が創出されている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備された「市民交流センター(分じろう)」「市民活動センター(十じろう)」「十日町産業文化発信館(いこて)」など各施設間の連携を図り、来街者の回遊性を高める仕組み作りを進めることにより、日常のにぎわいにつなげる取り組みを継続的に行う。</li> <li>各施設を利用したソフト事業(イベント)を継続的に行うことで、施設利用者の一層の増加を図る。</li> <li>サービス付き高齢者向け住宅及びファミリー向け都市型住宅「アップルとおかまち」への、入居者の一層の増加に向け、PR活動を継続する。</li> <li>十日町駅西地区画整理区域における保留地等の売却促進を図る。</li> </ul>